

2026.4月号 No.195

JFPI REPORT

**適正取引の推進に向けた自主行動計画
フォローアップ調査結果報告（2025年度）**

新たなビジネス事例

印刷イノベーション最前線！ 第4回

印刷女子 活動のご紹介

- 2 適正取引の推進に向けた自主行動計画
フォローアップ調査結果報告（2025年度）

- 8 新たなビジネス事例
印刷イノベーション最前線！ 第4回
BPOサービスで顧客ビジネスをサポート 株式会社ビー・プロ

- 11 令和8年経済センサス—活動調査が実施されます

- 12 印刷女子 活動のご紹介

- 14 プライバシーマークニュース
『個人情報保護マネジメントシステム内部監査員セミナー』を開催しました／
プライバシーマーク付与事業者のご紹介

- 16 グリーンプリンティングニュース
GPかんばんにい 第2回 株式会社北四国グラビア印刷

- 18 最近の活動から
「第77回 全国カレンダー展ならびに第67回 全国カタログ展」合同表彰式の開催／
第77回 全国カレンダー展のチャリティーカレンダー販売金を産経新聞厚生文化事業団の「あけみちゃん基金」
に寄付／「第65回 2026年ジャパンパッケージングコンペティション(JPC)展」入賞作品決定／「印刷産業環境
ビジョン2050」についての記者発表の開催／「新たな化学物質管理規制」についてのセミナー開催

- 22 会員ニュース
印刷工業会／全印工連／日本フォーム工連／ジャグラ／全製工連／全日本シール／
全国グラビア／GCJ／全日本スクリーン・デジタル／全日本光沢化工紙

- 27 JFPI-NOTE（2026年1月～3月）

- 28 事務局だより

適正取引の推進に向けた自主行動計画 フォローアップ調査結果報告（2025年度）

日印産連では、「適正取引の推進に向けた自主行動計画」「自主行動計画の徹底プラン」を会員10団体と協議を重ね策定しています。会員企業による適正取引の推進に取り組むとともに、印刷業に属さない発注側の業界に対しても、取引の適正化を働きかけています。

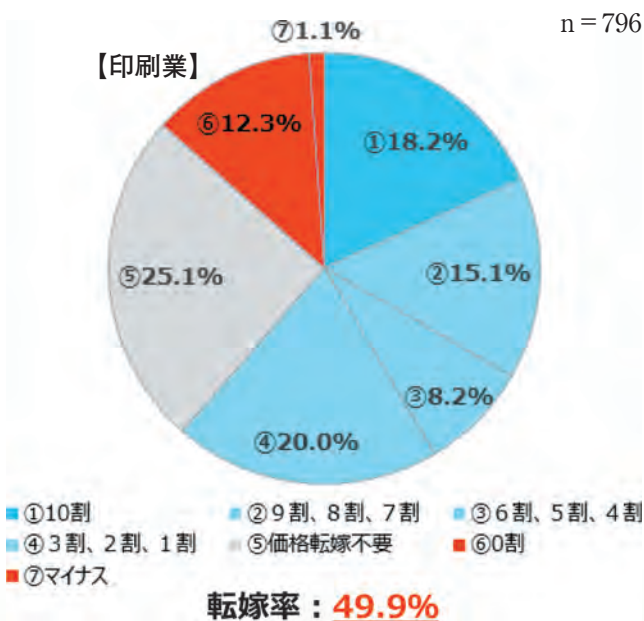
中小企業庁では、中小企業が適切に価格交渉・転嫁できる環境を整備するため、2021年9月より毎年9月と3月を「価格交渉促進月間」に設定し、フォローア

ップ調査を実施しています。

直近の2025年9月調査では、価格交渉に応じた業種別ランキングでは、印刷業界は3月調査の26位から24位となりました。原材料費・エネルギー費・労務費のコストに対する転嫁率も前回3月調査の21位（転嫁率47.7%）から20位（転嫁率49.9%）に留まり、価格交渉・価格転嫁ともほぼ横ばいとなっている傾向が見られました。

「価格交渉促進月間（2025年9月）フォローアップ調査の結果について」では、印刷業界での交渉・転嫁状況、下請Gメンが収集した事業者の声が掲載されています。

直近6か月間における価格転嫁の状況【コスト全般】



アンケート回答企業からの具体的な声

- 原材料高騰時に価格見直し提案があり、真摯な対応で値上げが実現し、入札環境も改善されている。
- ▲取適法違反後も改善なく、交渉や回答を先延ばしする体質が続き、中小受託事業者の経営を圧迫している。
- ▲入札で原価割れ企業が選ばれ、適正価格が評価されず、交渉機会もなく不公平な状況である。

出典：中小企業庁ウェブサイト

https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/follow-up/dl/202509/result_01.pdf

「価格交渉促進月間（2025年9月）フォローアップ調査の結果」のP.43より

この後、多くの会員企業の皆様にご協力頂き、印刷業界として4回目の「自主行動計画に係るフォローアップ調査」を実施し、その結果を取りまとめましたのでお知らせします。

1. 令和7年度フォローアップ調査結果（概要）

- 調査期間：令和7年10月21日～11月28日
 - 調査企業：日本印刷産業連合会（以下「日印産連」と表記）の会員10団体に加盟する会員企業5,866社のうち、できるだけ多くの意見を集めるべく、前年より増やし、計：2,547社を対象（前年：1,025社）。
 - 回答企業：202社（前年度：196社）
 - 回答率：7.9%（前年度：19.1%）
- ※今年度はできるだけ多くの会員の意見を集めるべく、前年より対象会社を増やしたが、調査対象が発注側のみとなったため、印刷業界は受注側の立場が多いことから、回答率は7.9%と前回を大きく下回った。

2. 令和7年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組①

合理的な価格決定（コスト反映状況）

【分析結果・今後の課題】

- コスト増加分を単価の決定・改定に概ね反映できた割合は、原材料価格では71%だったが、労務費52%、エネルギー価格55%については、価格転嫁が十分でない。
- 3費目とも、前年度からほぼ横ばいとなり、価格転嫁が進んでいない。
- 労務費の上昇を理由に取引価格の引上げを求められた場合、協議のテーブルに着く割合は、全てについて対応できている48.7%、概ね対応できている37.2%

と合計86%が協議を行っているとの結果となった。

- 今後は労務費、エネルギー価格の価格転嫁に向けて、大手・中堅印刷会社の発注担当部門への周知・要請強化に引き続き取り組む。

【設問と回答】

設問. 単価の決定・改定にあたり、コスト増加分をどの程度反映できましたか。

- ◆ 「概ね反映した (81～100%)」と答えた企業の割合

	労務費	原材料価格	エネルギー価格
前々年度	43%	63%	48%
前年度	51%	70%	54%
当年度	52%	71%	55%

重点課題に対する取組②

支払条件の改善 (現金支払割合)

【分析結果・今後の課題】

- 全て現金払いについては、前年度から6ポイントの減少となった。
- 現金は50%以上は前年度から11ポイント改善した。

【設問と回答】

設問. 取引金額が最も大きい仕入先との取引について、現金払い (製品等の受領日から60日以内の現金払) の割合をお答えください。

	全て現金払い	現金は50%以上	現金は50%未満	全て手形等の支払
前々年度	53%	24%	11%	12%
前年度	55%	19%	12%	14%
当年度	49%	30%	14%	7%

重点課題に対する取組②

支払条件の改善 (手形サイト)

【分析結果・今後の課題】

- 手形等サイト60日以内 (30日以内含む) と回答した割合が、前々年40%、前年38%に対し、当年は66%となり、大きく改善している。
- 60日超の手形は依然として3割を超えており、印刷業の主要顧客である出版社や食品メーカー等支払いサイトが長いクライアント業界への周知等の働きかけが必要。

【設問と回答】

設問. 取引代金を手形等 (約束手形・電子債権・ファクタリング) で支払う場合、手形等のサイトはどれくらいですか。

	30日以内	60日以内	60日超
前々年度	11%	29%	60%
前年度	10%	28%	62%
当年度	7%	59%	34%

重点課題に対する取組②

支払条件の改善 (約束手形の廃止)

【分析結果・今後の課題】

- 「約束手形の廃止」については、廃止期限が間近となったことにより9割超の会社が代替方法を回答している。一方「分からない」との回答が4.7%ある。

【設問と回答】

設問. 2026年1月1日以降、支払手段として約束手形の利用が認められなくなります。今後発注する取引の代金の支払いについて、最も多いと考えられる支払方法をお答えください。

	1	2	3	4	5
今年度	61%	29%	5%	0%	5%

1. 現金 (製品等の受領日から60日以内の現金払) 2. 電子債権
3. 一括決済方式 (ファクタリング) 4. その他 5. 分からない

【課題を踏まえた今後のアクション】

- 60日超の手形が3割を超えており、支払いサイトの短縮化が喫緊の課題だが、印刷業は受注産業であり、サプライチェーンの頂点となるクライアント企業から改善してもらう必要があり、発注側業界団体への働きかけが必要。
- 2026年からの約束手形利用廃止、発注した物品等を受領した日から起算して60日以内において定める支払期日までに代金を支払う取組に向けて、発注側の大手印刷会社は「現金化」(約束手形の利用廃止)を実施済みであり、中小印刷会社間の取引が問題となってくる。今後は印刷業界内取引の適正化に向けて、会員企業への周知徹底を図る。

重点課題に対する取組③

型取引の適正化

【分析結果・今後の課題】

- 型取引に関する取引条件の明確化では、「全ての企業に実施した」「多くの企業に実施した」の合計が、28.9%と低く改善が求められる。
- 量産終了後の型の保管費用支払いでは、約5割弱で実施されておらず、改善の取組が必要。

【設問と回答】

設問. 直近1年間で、型管理における適正化や改善への取組は実施できましたか。

	1	2	3	4	5
書面等による取引条件の明確化	22.2%	6.7%	13.3%	26.7%	31.1%
型代金の早期支払い	57.1%	10.5%	5.7%	3.8%	22.9%
量産終了後の型の保管費用支払い	26.4%	3.9%	11.8%	11.8%	46.1%
不要な型の廃棄費用支払い	24.3%	5.8%	5.8%	12.6%	51.5%

1. 全ての企業に実施した 2. 多くの企業に実施した
3. 一部の企業に実施した 4. あまり実施しなかった 5. 実施しなかった

【課題を踏まえた今後のアクション】

- 型取引に関する取引条件の明確化及び量産終了後の型の保管費用の支払い、不要な型の廃棄費用の支払いについては進捗が芳しくないため、サプライチェーンの最上流であるクライアント企業が加盟する業界団体に対し、協力要請の渉外活動を強化する。
- 業界内取引において委託事業者となる大手・中堅印刷会社に対しても、周知・協力要請を実施する。

3. 取引適正化に向けた今後の取組

- 取引適正化に向けた2026年度の重点課題としては引き続き労務費の価格転嫁が考えられるが、昨今は原材料価格やエネルギー価格も高騰しており、物価高を上回る賃上げの実現のためにもすべての費目において、より一層の価格転嫁の推進が必要となる。
- 日本印刷産業連合会では独自に作成した「受注者側」の取引適正化に関する実態調査を開始した。すべての会員企業様にご回答していただく機会を設けるため、独自調査として価格交渉促進月間のフォローアップ調査に合わせて今後は年2回の実施予定。現在、第一回目の調査の結果を集計中。
- あわせて取引報告・相談窓口も設置します。会員企業様からの「取引上の悩み」に関する報告・相談を受け付けるWeb窓口を設置し、会員10団体と業界課題を共有、対策を協議し、関係団体・行政機関との連携も含め課題解決を支援する体制を確立する。

- 労務費や原材料費等の物価上昇の公的データや改正「取適法」の解説など、取引適正化に向けた交渉材料を整備し活用を促す。(下図 見本イメージ)



- 業界内取引も含めたサプライチェーン全体での取引適正化を目指し、会員企業に対し「パートナーシップ構築宣言」の要請強化に取り組む。
- 型取引の適正化・働き方改革への対応についても課題改善に取り組んでいく。
- 最上流の委託事業者であるクライアント企業が加盟する業界団体に対し、価格転嫁及び商習慣の見直し等取引改善の渉外活動を強化する。
- 自主行動計画及び徹底プランの普及に向けては、会員10団体の会長・専務理事が集まる会議及び日印産連の会員向け機関誌や、会員向けセミナーの開催等により、繰り返し周知を行っていく。

(参考) パートナーシップ構築宣言への取組状況等

【取組状況】(2026年4月7日時点)

- 印刷・同関連業の宣言企業数：1,404社(事業所数：13,371社、会員企業数：5,866社)
- 全事業所数に占める宣言企業の割合：10.2%
- 日印産連 役員企業34社の宣言率：100%

【今後の取組】

- 会員10団体の役員企業についても宣言率100%を目指し、10団体の会長に賛同を要請する。
- 委託事業者となる大手・中堅印刷会社を中心とする印刷工業会については、会員全社(80社)の宣言を目指し協力要請する。

印刷に関する日本唯一の専門図書館

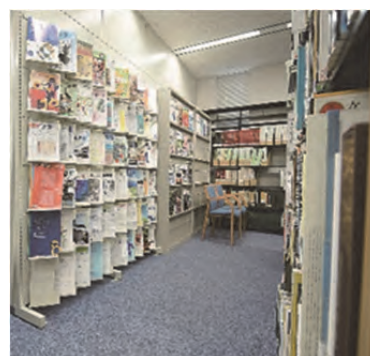
印刷図書館のご案内

☆昭和 22 年に設立された印刷に関する専門図書館です。

☆印刷以外にも、紙・インキなどの資機材分野、統計・市場調査などのマーケティング分野、多種多様な資料あり！

☆「赤玉ポートワイン」をはじめとしたレトロポスターコレクション、明治時代の活版見本帳、グーテンベルクのインキュナブラといった貴重資料もございます！

☆会員制の図書館ですが、入館料お支払いで誰でもご利用できます。



●印刷図書館概要

- 開館時間：午前 9：30～12：00 / 午後 1：00～5：00
- 休館日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季、臨時休館
- 利用料金：600 円／1 日（維持会員 無料）
- コピー：白黒 50 円／1 枚、カラー100 円／1 枚
- 座席数：9 席
- アクセス：有楽町線新富町駅から徒歩 3 分
日比谷線八丁堀駅から徒歩 5 分



☆印刷図書館では維持会員を募集しています。絶版になっている文献、非売品の資料など、他では見られない貴重な資料を所蔵しており、資料保存のためにも、皆様のご協力をお待ちしています。詳しくは下記までお問い合わせください。

——《お問い合わせ先》——

(一財) 印刷図書館

〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館 3 階

TEL 03-3551-0506 FAX 03-3551-0509

URL : <https://www.print-lib.or.jp/>

新たなビジネス事例

印刷イノベーション

データプリント業の進化事例

BPOサービスで 顧客ビジネスをサポート 株式会社ビー・プロ（宮城県）

創業135年目を迎えた株式会社ビー・プロ。活版印刷からスタートし、戦後は複写紙の裏面にカーボンインキを塗布する技術を導入、以後、OCR、OMR、MICRフォーム印刷と技術を進化させてきた。2000年頃からは可変印刷に注力し、データプリント事業を確立し成長させている。近年は、培ってきた印刷技術と情報処理技術、セキュリティシステムを組み合わせ、顧客のビジネスを支援するさまざまなBPOサービスを展開している。昨年、他社と業務提携し、印刷×生成AI×デジタルマーケティングを掛け合わせた独自のモデルを構築し、社内改善と顧客のビジネス支援に取り組んでいる。松田泰成社長にBPOサービス事業について話を伺った。

■紙媒体以外で課題解決を求められる

株式会社ビー・プロは、幅広い印刷業を展開しているが、データプリント事業を主軸にしており、特



本社社屋

に個人情報扱う可変印刷を得意としている。

企業理念に「情報化社会に密着し、各産業のパートナーとして社会に役立つ企業に発展することを目指す」を掲げて、常に新しい技術やノウハウに取り組んでいる。創業135年という長い歴史の中で、印刷物をはじめとする付帯サービスで顧客のビジネスをサポートしてきた。

「地域の企業や小売業などと連携していくことが重要だと思っています。長年培ってきた『印刷』の技術に、より高度な『情報処理技術』、個人情報を取り扱う上での『セキュリティシステム』を構築し、お客様のニーズに合わせてサポートさせていただいています」と、松田社長は経営方針について話す。

従業員は120名を擁しており、業務内容は可変印刷全般、DM、一般連続伝票OCR、OMR、MICR、各種ナンバー印刷、Webサイト制作・運用、動画制作など多岐にわたっており、インクジェット印刷機2台、オンデマンド印刷機1台、レーザープリンター2台、オフセット印刷機、圧着機、封入封かん機等を駆使して、それらの印刷物を提供している。

その社は近年、データマイニング、アッセンブリー、コールセンターといったBPOサービスに注力し事業の確立を目指している。これまで売上の大半を印刷業で占めていたが、デジタル化の流れの中で、顧客から同社に悩み事や課題の解決を要望するケースが増え、紙以外のサービスを求めるようになってきたのである。そこで、強みを活かせるBPOサービスを開始した。

■顧客データを分析し提案する

データマイニングは、多大なデータから顧客の購買行動を分析し、最適な顧客データを抽出してマーケティング活動に活用するものだ。「お客様の購買

最前線!

第4回

この連載では、既存の印刷製品の優良事例や非印刷領域における先端事例を紹介します。

データを分析し、どのように販促に活かしていけばよいかを提案するのですが、その際にお客様の課題がどこにあって、売上向上のためには何を改善すれば良いかを見つける必要があります。地域の百貨店や小売業者を中心に事業を伸ばしていく予定です」とのことだ。

現在は、顧客に寄り添って、顧客の業績改善・向上に直結するマーケティング上の課題を洗い出したり、施策検討・実施後のデータ検証を行ったりして、改善策を提示できる体制を築いているところだ。

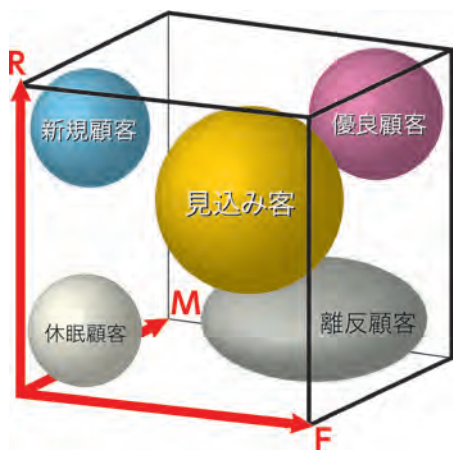
アッセンブリーについては、「当社ではお客様のECサイトの構築を請け負っていますが、ECサイトで扱う商品の発送業務を当社で代行する話から発展

し、アッセンブリーサービスを開始しました。お客様にはコア業務に専念していただければと考えています」と、ECサイトの構築・運用と商品すべてのアッセンブリーサービスを展開している。

■アッセンブリーで商品を一括で請け負う

同社のアッセンブリーサービスは、在庫管理、検品、複数商品のセットアップ作業、封入・梱包作業、商品発送まで一括して代行するもので、顧客にとっては窓口を一本化し、シンプルな運営体制を確立することができて、業務効率を向上させることが可能になる。また、物流コストの削減、顧客満足度の向上、集客力アップに繋がるというメリットも享受できる。

コールセンター事業は、顧客のユーザーからの問い合わせやカスタマーサポート、営業リストからのアポイント取得電話などの対応という、非常に手間が掛かる業務を、顧客に代わって行うサービスである。「お客様にはコア業務に専念していただくよう当社が電話対応を引き受けています」とのことだ。問い合わせや架電でヒアリングして集まった情報で、顧客の業務に活かすために情報集計・レポート作成も引き受けている。これはデータマイニング業務に



データマイニングでは優良顧客を導き出す「RFM分析」も行う



アッセンブリールーム



顧客に代わってヒアリングも行うコールセンター

も通じるといえよう。データ活用を望む顧客が増えている背景もあるため、今後、事業として拡大していく方針だ。

このように、同社のBPOサービスは多岐にわたっているが、気になるのは各事業に携わる人員である。「基本的には社員でもBPO事業にも携われるように教育しています。一つの業務だけに従事するようにはしていません。印刷以外の付帯事業の仕事にも就けられるように、教育を行って組織を整備しています。いわゆる多能工化を進めています」と柔軟な人材配置を行っている。

また、部署は総務、営業、システム、製造に分かれるが、営業から製造に移ったり、逆に製造から営業に転属したりするケースもあるとのこと。「社員と話し合いをして他の部署に移ってもらうこともあります。いずれにしても納得してもらってから異動することにしています」と、社員の適性を見て希望を聞いた上で各部署に配属しているとのことだ。

BPOサービスを展開していく上での難しさについて、松田社長は「当初、個人情報扱う点でハードルがありました。やはり、誤って大切な個人情報が流出してしまうリスクがあります。25年ほど前から可変印刷を手掛けてきましたから、トラブルも発生したわけですが、その都度社員教育だけでなく、工場内の体制も含めてセキュリティ環境を構築してきました。セキュリティでは社員の意識が重要視されますから、教育には力を入れています」と述べる。

■「生成AI×印刷」で顧客をサポート

セキュリティに関しては、監視カメラを設置し社内への立ち入りを24時間体制でチェックしたり、静脈認証やカード入退管理システムで情報の漏えい防止に努めたりしている。さらに、プライバシーマークや情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格ISO27001を取得し、万全のセキュリティ体制を築いている。

同社は昨年、仙台市内の株式会社デジタルゴリラと業務提携し、「生成AI×印刷」の地域発のDXモデルの構築に乗り出した。これは印刷×AI×デジタル

マーケティングを掛け合わせた独自のモデルで新規顧客を開拓し、地域経済への貢献を目指していくもので、ビー・プロの強みである高度な印刷技術とデジタルゴリラの生成AIの知見・導入ノウハウを融合させて、印刷業界のDXの加速と地域における新たな価値創造に取り組むというものである。

「昨年の4月から定期的にデジタルゴリラさんのスタッフさんに当社へ来ていただき、当社の選抜した社員10名ほどにコンサルティングしてもらっています。まずは社内の業務改善・業務効率化を図るために、生成AIを活用したシステムを構築しています。この1年で、営業は生成AIを使って提案やデザイン効率化が行えるようになりましたが、製造のほうは生成AIを使ってどの分野の業務改善ができるかを検討している段階です」と、生成AIを活用したワークフローの構築を目指している。

「お客様は業務改善や生成AIをビジネスに活用したい意向がありますから、ニーズに合った生成AIを提案し、プロンプトを考え作成するサービスの提供や、お客様と伴走しながら生成AIの仕組みづくりをサポートしていければと考えています」と、ビジネスの方向性を示す。

松田社長は「基本的には印刷会社としてこれからも邁進していきますが、紙の印刷だけではお客様の要望に対応しきれなくなっていますから、デジタルメディアを活用して、お客様のビジネスをサポートしていきます。そのためにはお客様のニーズを正確に把握して、最適なメディアを提供し課題を解決できる体制を築くことが重要だと考えています」と、ビジョンを述べる。印刷業を軸としながらも、DX化を図り、時代に適応した業態変革を推進している。

株式会社ビー・プロ

所在地：宮城県仙台市若林区六丁の目西町4-1

代表者：代表取締役社長 松田 泰成

創業：1891年

URL：<https://beprogess.jp/>

令和8年経済センサス—活動調査が実施されます—

—調査票は4月から5月にかけて配布—

5年に一度実施される基幹統計調査です。
調査票が届いた際には回答へのご協力をお願いします。

日本印刷産業連合会では、毎年4月に印刷産業の動向のほか、国内経済や需要先市場、関連する資材・機材産業の動向をまとめた年次報告「印刷産業 Annually Report」を発行しています。

こうした産業分析の基礎資料の一つとなっているのが、国などが実施する各種統計調査です。

今年、総務省・経済産業省・都道府県および市町村は、令和8年経済センサス—活動調査を実施します。

本調査は、すべての産業分野の売上（収入）金額や費用などの経理項目を同一時点で把握し、事業所・企業の経済活動の実態を全国および地域別に明らかにすることを目的とした、統計法に基づき実施される5年に一度の基幹統計調査です。

印刷会社の工場、営業所、支店、事務所などを含む企業・事業所が調査対象となります。

対象となる企業・事業所には調査書類が配布されますので、届きましたら回答へのご協力をお願いいたします。



印刷産業 Annually Report

■回答期限にご注意ください

調査票配布：令和8年4月頃から順次

※本調査は統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。調査票が届きましたら、書類に記載されている期限までの回答にご協力をお願いいたします。

■調査内容等

調査項目：従業者数、事業の内容、売上金額、本所・支所の関係等

結果の活用例：国や自治体の政策立案やまちづくり、企業の経営計画や出店戦略など

回答方法：インターネットまたは紙で提出（詳しくはキャンペーンサイトへ）

※調査員を装って情報を得ようとするかたり調査にご注意ください。調査員証等を確認いただき、不審に思われた場合は市町村へお問い合わせください。

<https://www.e-census2026.go.jp/about/>

Girls Who Print Japan

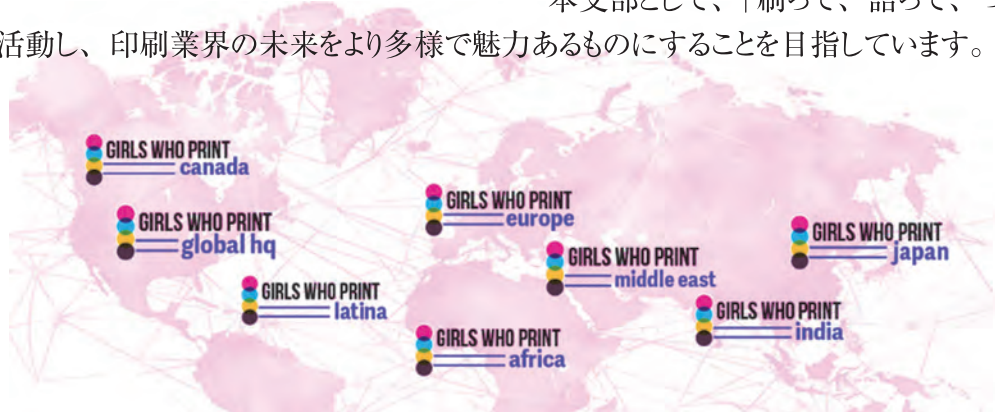
印刷女子

刷って、語って、つながって。

キーワードに活動し、印刷業界の未来をより多様で魅力あるものにすることを目指しています。

印刷女子（英語名 Girls Who Print Japan、略称 GWPj）は、印刷業界で活躍する女性たちの自主活動団体です。

米国発のコミュニティ「Girls Who Print」の日本支部として、「刷って、語って、つながって」を



印刷女子 交流ツアー in page 2026

ご参加くださった印刷女子の皆さん、あたたかく受け入れてくれた企業の皆さま、応援してくださったpage運営のJAGAT様、ありがとうございました！



SCREEN様のブースでは、スクリーン青木さんとリコー小林さんのトークセッションがおこなわれました。

青木さん 普段の業務だけでは、決して得られない、新たな視点や経験、ヒントを得られるのが、GWPjの魅力だと確信しています。

小林さん そうですね。GWPjの活動をいかに活用するかがポイントで、ここでの学びや想いを業務に役立てたいですね。

青木さん より多くの方にこの活動を知っていただき、未来を共に創造していきたいです。

小林さん 一丸となって、印刷業界を盛り上げて！いきましょう！
と、お二人の掛け合いは、その場にいた業界人の心をつかみました。
その様子は右記をご覧ください。 [検索 → 「印刷女子.style」](#)

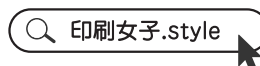
印刷女子通信（メルマガ）への登録はこちら

Googleで検索

もしくは

QRコード

お問い合わせ



検索 → 「印刷女子
お問い合わせ」

「印刷女子」 ヒストリー

②GWP-USのサポートをうける

③清水氏より、日本での説明をスタート
日本印刷産業連合会と全日本印刷工業組合連合会でキックオフ

⑤第2回 mtg開催（EPSON様）

2024年5月

7月

8月

11月

2025年1月

4月

①drupalにてGWP-USのリーダーと現日本支部の代表・清水氏が出会ったことを契機に、日本支部を設立

④第1回 mtg開催（印刷会館 5F）

⑥第3回 mtg開催（デジタルハリウッド大学様）

印刷女子 活動のご紹介

Girls Who Print Japan : 「印刷女子」 ミッション・ビジョンと価値創造モデル

ミッション

- 出会い・学び・共感を通じて、印刷業界で働く女性たちが互いに力を高め合い、次世代のリーダーを育む支援的なコミュニティを築きます。

ビジョン

- 印刷業界の魅力を社会に発信し、多様なステークホルダーと連携しながら誰もが活躍できる持続可能な印刷業界の未来を創造します。
- 誰もが自分らしいリーダーシップを発揮し続けられる環境を整え、若い世代も憧れる業界へ進化させていきます。

価値創造モデル

世代や職種を越えてつながり、学び合い、
支え合うコミュニティを育む。

つながる

学ぶ

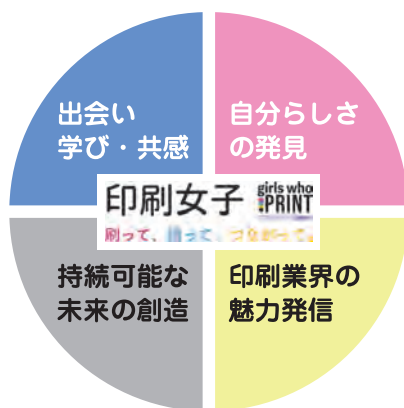
分かち合う

多様な連携で、誰もが活躍できる、
変化に強い業界の未来を共に創る。

共創する

つなぐ

進化させる



価値観や強みに気づき、
自分らしいキャリアとリーダーシップを描く。

気づく

描く

選ぶ

女性の声で印刷の価値と楽しさを伝え、
次世代に興味と希望を届ける。

伝える

惹きつける

広がる

日本事務局メンバーの紹介

グループの運営をボランティアで支えています。



小林 可奈

株式会社リコー

リコーで市場情報分析や事業計画の策定・推進を担当しています。印刷業界の多様性とサステナブルな発展に関心があり、Girls Who Printを通じて国内外の女性とつながり、学び合える場にしていきたいと考えています。



青木 理恵

株式会社SCREENグラフィックソリューションズ

ビジネス統轄部 販売推進部

社会人としても業界の知識についてもまだまだ学びの途中ですが、印刷業界と本業界における女性の活躍に一層の彩りを添えていきたいという想いで活動しています。この活動での出会いや学びは財産です。『出会い・仲間・共感』をモットーに、会社や職種、年代の壁を超えて、語りあい、繋がる場所がここにあります。



加藤 三紀子

一般社団法人 日本印刷産業連合会

印刷文化の振興を目的として業界団体で活動をしています。造本装幀コンクールをはじめ、全国カレンダー展や全国カタログ展など、紙の魅力や印刷物の価値を広く伝える各種コンクールなどを運営しております。これらの活動を通じて、印刷技術やデザインの可能性を発信するとともに、紙媒体ならではの表現力やぬくもりを次世代へとつないでいくことを目指しています。多様な立場の印刷業界で働く皆様とGirls Who Printを通じて交流することを、毎回とても楽しみにしております。



永嶋 ゆり

株式会社日本HP デジタルプレス事業本部 インダストリアルセル

ルス本部 マーケティング部 シニアスペシャリスト

デジタル印刷機メーカーのマーケティング業務を中心に、長く印刷業界に携わってきました。技術革新が進む中でも、印刷が持つ“伝える力”や“心を動かす力”は変わらず、そこに楽しさと可能性を感じています。Girls Who Printでは、印刷に関わるすべての人とフラットにつながりながら、業界の魅力や価値を発信していきたいと思っています。



関野 里美

セントラル印刷株式会社 代表取締役

東京都生まれ。30代まで旅行会社に勤務。その後家業である印刷会社に入社。オフセット、デジタル印刷製本工場を東京と真ん中の神楽坂で稼働中。製造の印刷業から情報伝達の印刷業にアップデート。次世代への引継ぎにむけて、業務も働き方も未来型の印刷業を展開中です。

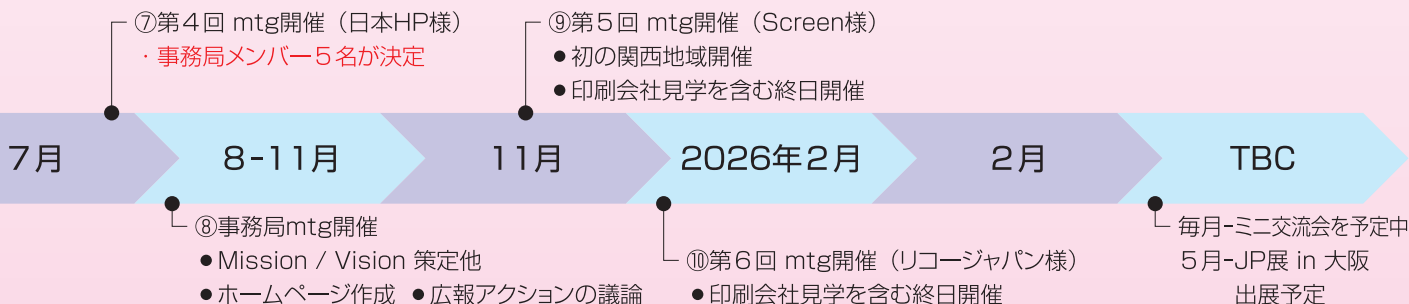
印刷女子は、世代や職種を越えた交流／つながりを生み出し、印刷の価値や楽しさを業界内外へ発信する活動です。

女性も、若い世代も、自分らしく活躍できる印刷業界を目指しています。

〈次回の活動〉2026.3～6月は、月1回のオフ会（ミニ交流会）を計画中！ 詳細＆参加方法は「印刷女子通信（メルマガ）」でご確認ください。

検索 → [【印刷女子 メルマガ登録】](#)

刷って、語って、つながって！ 集まろう！ 印刷女子たち！ 多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



『個人情報保護マネジメントシステム内部監査員セミナー』を開催しました

2026年2月27日(金)に日本印刷会館にて、「プライバシーマークにおける個人情報保護マネジメントシステム構築・運用指針【JIS Q 15001:2023準拠 ver1.0】」に対応した「個人情報保護マネジメントシステム内部監査員セミナー」を開催しました。

本セミナーは、コロナ禍により中止していましたが、昨年2月26日に再開後2回目の開催となります。

以下の内容について、講義及び演習を行いました。

- ①講義「内部監査」、「構築・運用指針」、「内部監査の手順」
- ②演習「模擬監査」、発表
- ③理解度確認

18社27名に参加いただき、午後の模擬監査演習では、2～3人でチームを組んで、監査側・被監査側それぞれを体験しました。

受講者からのアンケート結果は以下の通りでした。

1. 内部監査の経験について（複数回答可）

質問内容	回答数
監査委員を1回以上したことがある	12
監査員はしたことがない	7
今後、監査員をする予定がある	8
監査を受けたことはある	11

2. 講義・模擬演習について（複数回答可）

満足度	とても役に立った	役に立った
講義	10名 (32%)	16名 (52%)
演習	11名 (35%)	14名 (45%)

3. 参加者のコメント（抜粋）

難しい演習だったが、今後予定されている監査員としての活動に役立つ内容だった。
これまでベースとなる監査チェックシートがあることが多かったため、一から作成する経験は勉強になった。
演習をすることで、より理解が深まり、気を付けるべき点がわかった。
いきなり本番で大量の文書を見るのが大変だった。
時間が足りない、もっと実践練習をやりたかった。
今後の業務に生かせる内容だった。ありがとうございました。



講義の様様



チームに分かれて模擬監査



チームに分かれて模擬監査



模擬監査結果の発表

今後のセミナー等の開催について

今後も、印刷事業者のお役に立てるような、個人情報保護マネジメントシステムに関するセミナーや内部監査員セミナーを実施していく予定です。またオンラインでの内部監査員セミナーも検討しています。実施に関してはホームページ等で告示いたします（10名以上の参加者が見込まれる場合で、個別の内部監査員セミナーをご希望の場合は、プライバシーマーク審査センター事務局までお問い合わせください）。

プライバシーマーク付与事業者のご紹介

2025年12月～2026年2月に日印産連プライバシーマーク審査センター審査委員会において、プライバシーマーク付与適格決定を受けた事業者は以下のとおりです。

〈第217回 審査委員会 2025年12月22日(月) 開催〉

【更新事業者】株株式会社DNPデータテクノ、株式会社アドプレックス、ダイコロ株式会社、セキ株式会社、徳島県教育印刷株式会社、株式会社杏林舎、株式会社NPCコーポレーション、伊坂美術印刷株式会社、株式会社総合印刷、株式会社イープレス、丸善雄松堂株式会社、株式会社DI Palette、安達写真印刷株式会社

〈第218回 審査委員会 2026年1月26日(月) 開催〉

【更新事業者】株式会社印刷アド、三信印刷株式会社、株式会社サンプリント、株式会社図書館流通センター、株式会社北斗社、株式会社山一印刷、ミカ製版株式会社、瀬味証券印刷株式会社、株式会社宮崎南印刷、NTSプリント工房株式会社、株式会社坂東印刷、昭和情報プロセス株式会社、株式会社ジェイエスキューブ、株式会社博伸社、株式会社山添印刷店、福井商会株式会社、日本紙興株式会社、藤原印刷株式会社、共同印刷メディアプロダクト株式会社

〈第219回 審査委員会 2026年2月16日(月) 開催〉

【更新事業者】株式会社松下印刷、株式会社ショウエイ、株式会社広済堂ビジネスサポート、八昭印刷株式会社、永代印刷株式会社、TOPPANインフォメディア株式会社、株式会社サンニチ印刷



グリーンプリンティングニュース

人を想う。地域を想う。地球を想

想いとは、なんだろう。それは、相手のこころの中を慮り、相手の気持ちになって深く、広く思いを巡らせることではないでしょうか。

お取引先さまをはじめ、従業員やそのご家族、同じ地域に暮らす方々。

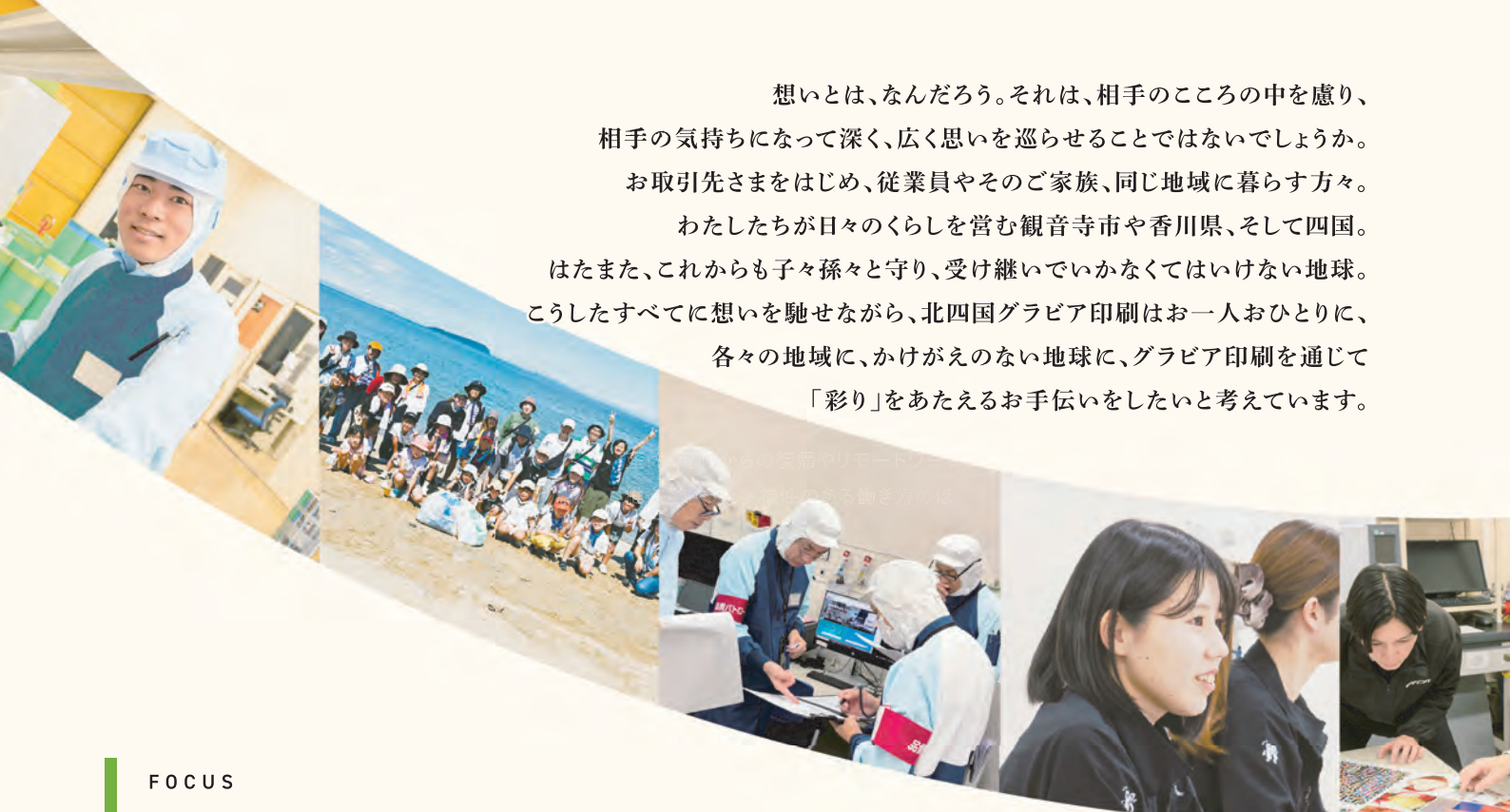
わたしたちが日々の暮らしを営む観音寺市や香川県、そして四国。

はたまた、これからも子々孫々と守り、受け継いでいかななくてはいけない地球。

こうしたすべてに想いを馳せながら、北四国グラビア印刷はお一人おひとりに、

各々の地域に、かけがえのない地球に、グラビア印刷を通じて

「彩り」をあたえるお手伝いをしたいと考えています。



FOCUS

GPマーク普及活動として

私どもは「社会をより良くする会社へ」という想いを大切にし、製品づくりを通して社会や環境に貢献することで、環境パッケージのリーディングカンパニーを目指しています。

数ある環境資材マークの中でも、グリーンプリンティングは、資材だけでなく企業活動全体において環境に配慮した取り組みを行う企業が取得できる認定です。その理念は、私どもが目指す想いとも重なります。

人を想う、地域を想う、地球を想う。

その想いと取り組みをより多くの方に知っていただくため、昨年はグリーンプリンティングのご案内リーフレットを刷新しました。展示会や営業活動などの場で活用し、お客さまにより分かりやすくお伝えできるよう努めています。



GP 第2回
株式会社北四国グラビア印刷
か ん ぱ に い

GPに積極的に取り組まれている企業を紹介する記事を不定期で連載いたします。第2回目はグラビア印刷のGPマーク普及に積極的に取り組み、GPマーク普及大賞のゴールドプライズを、毎年受賞されている「株式会社北四国グラビア印刷」さんです。

う。今日も“想い”で、世界を彩る。

株式会社北四国グラビア印刷

設立 1976年1月(創業1970年)
資本金 3億1,000万円
代表者 代表取締役社長 奥田拓己
本社工場 〒768-0052 香川県観音寺市粟井町755番地
TEL:0875-27-9280 FAX:0875-27-9380
新工場 〒767-0021香川県三豊市高瀬町佐股字東長谷乙421-1 ※2026年9月竣工予定
東京営業所 〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-9-13Biz-ark浅草橋駅前5階
TEL:03-6682-3005 FAX:03-6682-3006
事業内容 グラビア印刷による軟包装材の製造、及び包装材の仕入並びに提供



TOPICS

オウンドメディア「あわいひかり」

当社は理念経営を掲げ、社訓や行動基準を企業活動や経営の根幹に据えています。その中でも「環境」への取り組みについては、お客さまや社会のニーズへの対応、そして地球環境への負荷低減という観点から、まだ十分とは言えないと感じていました。

その課題に向き合う取り組みの一つが、環境をテーマにしたウェブメディア「あわいひかり」です。2024年1月に運営を開始し、パッケージ印刷における環境対応のアプローチを紹介するほか、印刷業界の内外で活躍する「環境トップランナー」へのインタビュー、さらに環境をより身近に感じていただくための企画や記事を発信しています。

今後もこうした取り組みを通じて、環境について考えるきっかけを広げていきたいと考えています。



あわいひかりサイト取材記事
「商品に付加価値を与えてくれる「GPマーク」」について掲載しています▶



「第77回 全国カレンダー展ならびに第67回 全国カタログ展」 合同表彰式の開催

一般社団法人日本印刷産業連合会と産経新聞社が共同で開催した「第77回全国カレンダー展ならびに第67回全国カタログ展」合同表彰式が、2026年1月20日(火)に日本印刷会館2階会議室において開催されました。同表彰式は、数年ぶりにパーティを含めた合同形式で開催され、発行者や制作関係者など約80名が出席し、盛会となりました。

式典は・日印産連 堆副会長の主催者代表挨拶、経産省 萩野様の来賓代表挨拶に始まり、経済産業大臣賞・文部科学大臣賞・経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞の上位3賞の授与が行われました。カタログ審査委員長の左合ひとみ氏の審査講評に続き、カレンダー審査員長の上條喬久氏が講評を行いました。また、受賞者を代表して「全国カレンダー展」からパナソニック(株) 宣伝・広報部 相澤雅子氏による謝辞があり、表彰式は終了しました。



左合ひとみ審査委員長 上條喬久審査委員長 相澤雅子氏による謝辞



全国カレンダー展 受賞者の皆さん



全国カタログ展 受賞者の皆さん



表彰式

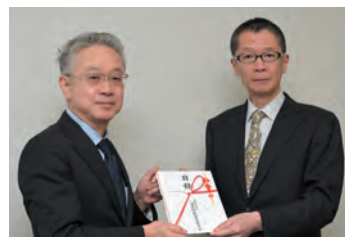
懇親パーティー

第77回 全国カレンダー展のチャリティーカレンダー販売金を産経新聞厚生文化事業団の「あけみちゃん基金」に寄付

「第77回 全国カレンダー展&第67回 全国カタログ展」合同展示会が2026年1月26～30日に東京サンケイビル地下のブリックギャラリーにて開催されました。



展示会と合わせて実施されたチャリティーカレンダーの販売金9万4千円と日印産連からの寄付金を合わせた30万円を、



国内外の心臓病の子供を救う「あけみちゃん基金」(産経新聞社 提唱)に寄付しました。寄付金は3月6日に産経新聞社本社(東京都千代田区大手町1-7-2)にて高島淳一常務から産経新聞社の三笠博志事業本部長に寄託されました。

あけみちゃん基金

先天性の心臓病などに苦しみながら、経済的な事情で手術を受けることができない子供たちを救うため、産経新聞社が提唱して設立された基金です。昭和41年6月、生まれつき右心室と左心室の間に穴が開いている心室中隔欠損を患い、「手術をしなければあと2、3年の命」と宣告されたものの、手術費用を賄うことができなかった鹿児島県の少女あけみちゃん(当時5歳)の記事をサンケイ新聞(現・産経新聞)に掲載したところ、大きな反響とともに、読者から「あけみちゃんを救ってほしい」として多額の善意が送られてきました。寄せられた善意をもとに、産経新聞社は「あけみちゃん基金」を設立、あけみちゃんは適用第1例として東京女子医大付属心臓血管研究所で手術を受け、元気な体になりました。国内で心臓病の子供への公的扶助が充実して以降は海外にも支援の輪を広げ、これまでに基金が救ってきた子供は国内外合わせ500人以上にのぼります。近年は国内で心臓移植を受けた子供への支援を実施。

平成27年度からはミャンマーの心臓病の子供を救うため、医師団を派遣するなどして医療レベルの向上を目指す支援活動を始めました。活動資金は、すべて読者を中心とする一般の方々から寄せられる善意で賄われています。

「第65回 2026年 ジャパンパッケージングコンペティション (JPC) 展」入賞作品決定

今年で65回目となるジャパンパッケージングコンペティション (JPC) 展の入賞作品が決定しました。審査会は2月12日(木)、東京都新宿区の大日本印刷左内町ビルにおいて実施されました。クリエイティブ関係者・経済産業省ほか後援団体関係者・広告団体・消費者団体と主催者側印刷関係者計10人による選考で各賞を決定し、応募点数146点より41点が入賞しました。その中で最優秀と認められた経済産業大臣賞受賞作品は以下の通りです (作品名/ブランドオーナー名)。

授賞式は5月29日午後、東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷で開催予定です。

【経済産業大臣賞 1部門】

「SIIDA」/味の素株式会社



【経済産業大臣賞 2部門】

シンカトリ / 大日本除虫菊株式会社



審査会 記念写真

「印刷産業環境ビジョン2050」についての記者発表の開催

2026年3月24日(火)に報道各社9社、10名にご参加いただき日印産連8階 801会議室にて「印刷産業環境ビジョン2050」の記者発表を実施いたしました。冒頭、常務理事 飯島由紀より、印刷産業としてこれまでの環境保全のさまざまな取り組みに加えて、これからも持続可能な社会の実現に向けて貢献していくため、「印刷産業環境ビジョン2050」を作成して重点目標を掲げ、業界内外に公表し、実現に向けて積極的に挑戦していくことを説明しました。



常務理事 飯島由紀

本ビジョンの達成に向けて今後、

- ①環境自主行動計画での取り組み継続
- ②日印産連グリーン基準への反映 (GP認定基準改定)
- ③環境表彰制度の深化と充実

を進めていきます。

また、本ビジョンにより活動を加速するため、22項目からなる、用語集も併せて作成し、会員団体・企業の皆様への浸透を図ります。



本ビジョンの達成には現状の省エネ活動、再生可能エネルギーの導入、最新技術の応用や効率的な資源循環や持続可能な原材料調達、今後の革新的な技術導入や他の産業、業界や地域社会との連携が必須であります。印刷産業のみならず、様々な関係者からご支援を賜りたくお願いする次第です。

●印刷産業環境ビジョン2050

私たち印刷産業は、これまでの環境保全の取り組みに加えて、これからも持続可能な社会の実現に向けて以下の重点目標を掲げます。

1. 脱炭素社会の実現

事業活動に伴う温室効果ガスの排出量（Scope 1、Scope 2、Scope 3）を実質ゼロにすることを目指します。このために、エネルギー効率の向上や再生可能エネルギーの導入を推進し、持続可能な生産プロセスや製品・サービスへの転換を図ります。

2. 循環経済の深化

事業活動を通じて循環経済の実現を目指します。資源のリサイクルや再利用を促進し、廃棄物の削減に努め、持続可能な資源利用を推進します。

3. 自然共生社会の推進

事業活動において生物多様性の保護と促進に取り組み、自然共生社会の実現を目指します。環境保全に配慮した製品開発や地域社会との協力を通じて、持続可能な未来を目指します。

これらの目標を実現するために、業界全体で環境への取り組みを強化し、新たに生じる社会・環境の変化にも迅速かつ前向きに対応、持続可能な未来の実現に向けて行動してまいります。

「新たな化学物質管理規制」についてのセミナー開催

2026年2月6日(金)にオンライン方式にて「新たな化学物質管理規制」についてのセミナーを開催しました。2024年4月から本格施行された労働安全衛生法の改正から、まもなく2年となります。この改正では、事業者が化学物質管理を行うためのリスクアセスメントに基づく自律的な管理責務や管理実施体制の確立を求める法令改正となっており、化学物質を取り扱う印刷事業者に重要な責務が生じることとなりました。本年度も「新たな化学物質管理規制」の概要および労働安全衛生法の改正内容と対策をわかりやすく解説するセミナーを開催しました。今年の実務上重要で最もかかせないラベルとSDSについて詳しく解説を行いました。

講師には昨年に引き続き、中央労働災害防止協会、労働衛生調査分析センターの副所長である構健一氏にお願いし、大変わかりやすい内容でお話を頂きました。

〈セミナー内容〉

新たな化学物質規制の概要と法令改正の要点

- (1) 化学物質規制見直しの背景事情（自律的管理とは）
- (2) ラベルとSDS 化学物質の情報
- (3) 社内の管理体制のこと
- (4) リスクアセスメントと措置

当日は84名の方に参加を頂き、事後アンケートでも参加者の95%以上から、わかりやすかったとの評価を頂くことができました。関心も多く、ご参加いただけなかった方もいたことから、本年5月14日に同内容で追加開催を予定しております。

「新たな化学物質管理規制」については、会員各位からの関心が高いことから引き続きセミナーの開催や各団体と共催するなど企画して参ります。

有楽町線 新富町駅から徒歩3分の快適なアクセス！

日本印刷会館 貸会議室のご案内

日本印刷会館では、小規模の集会から最大132名まで収容可能で、会議、研修、講演会、懇親会など様々な用途に合わせた最適な会場とプロジェクターやWiFi等の設備をご用意しています。

また最寄駅より徒歩3分と至近なアクセス。ご利用料金も近隣の施設より割安となっています。

用途・参加人数等をお教えいただければ弊社スタッフがご相談に応じます。まずはお気軽にお問合わせください。

ご予約・お問合わせ ☎ 03-3551-5011

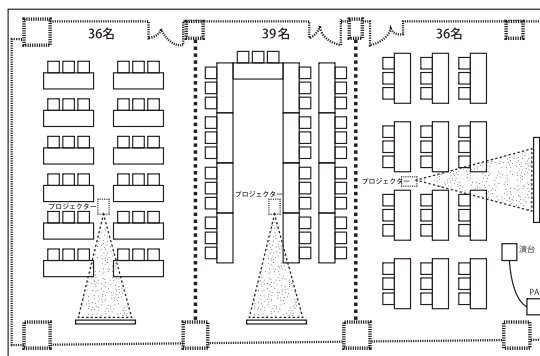


標準使用例

3 部屋利用の場合



1 部屋利用の場合



貸会議室 概要

- 営業時間：午前9時～午後9時
- 休業日：土・日・祝祭日・年末年始
※土・日・祝祭日使用はご相談に応じます。
- 貸会議室：201、202、203、301、501号室
(各収容人員18～36名(口型))
※2部屋利用(収容人員84名(スクール))
※3部屋利用(収容人員132名(スクール))
- 利用料金：1部屋利用 30分 2,000円(301 30分 1,200円)
(消費税抜き)
2部屋利用 30分 4,000円
3部屋利用 30分 5,000円
(12～17時の場合の料金例です。
その他の時間帯についてはお問い合わせください。)
- 備品：液晶プロジェクター、120インチスクリーン、
(有料)ワイヤレスマイク、演台、ホワイトボード、演壇、
ノート型パソコン、インターネット回線、Wi-Fiなど

アクセスマップ



《ご予約・お問合わせ》

(株)日本印刷会館

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8
TEL. 03-3551-5011 FAX. 03-3551-3010

<https://www.jfpi.or.jp/kaikan>
上記アドレスとQRコードで
申込状況を確認いただけます。



印刷工業会

「データ活用が生み出すこれからのビジネス」をテーマに若手育成セミナー開催

印刷工業会では、3月10日(火)、紙器印刷部会ならびに軟包装部会の合同で、若手育成セミナーおよび懇親会を印刷会館にて開催した。

当日は各会員会社の若手が約100名集まり、講師としてお迎えした富士通株式会社シニアエバンジェリストの松本国一氏により、「データ活用が生み出すこれからのビジネス」をテーマに講演が行われた。



松本氏は、デジタル分野での豊富な経験を踏まえ、データ活用とAIがもたらす新たなビジネスの可能性について解説した。世界ではスマートシティの整備やキャッシュレス社会の進展、行政手続きのデジタル化など、デジタル技術を基盤とした社会変革が急速に進んでいる。一方、日本ではDXへの取り組みは広がっているものの、IT導入など手段に重点が置かれ、成功に至る企業はまだ限られていると指摘した。

また、DXとは単なるIT化ではなく、「ありたい姿」を実現するためにデータを利活用し、ビジネスや業務の仕組みそのものを変革する取り組みであり、データ分析により顧客ニーズを的確に捉えることで、ビジネスモデルが大きく変化している。さらに、AIは現在第四次ブームに入り、AIエージェントなど自律的に業務を支援する技術も登場していることに触れ、AIを単なるツールではなくパートナーとして活用していくためには、AIと対話しながら活用できる人材の育成が重要であると強調した。

講演後には懇親会が行われ、会場は立食形式で軽食や飲み物が用意され、和やかな雰囲気の中で各社の若手同士が活発に交流を深めた。講演内容をきっかけとした意見交換も随所で見られ、会場は熱気に包まれ、大いに盛り上がりを見せた。参加者にとっては、同世代の仲間とのつながりを広げるとともに、今後の業務やキャリアを考えるうえでも有意義な機会となった。



全日本印刷工業組合連合会

Impression !

全印工連XIカンファレンス2026開催

これからの印刷業がつくるのは「体験」だ。

全印工連産業戦略デザイン室(江森克治委員長)では、本年1月23日(金)、神奈川県横浜市の象の鼻テラスで「Impression ! 全印工連XIカンファレンス2026 これからの印刷業がつくるのは「体験」だ。」を開催した。

消費行動が変化し「体験価値」が重要視されるなか、印刷は単なる情報伝達ではなく、人の行動や感情を動かす体験デザインの仕事として「体験価値」を生み出す可能性があることから、その可能性を探るため、全国中小企業団体中央会の補助金を活用し「印刷業に革新をもたらす体験価値提供ビジネスモデル開発事業」に取り組み、補助事業の中間報告という位置づけで全国の組合員へ情報発信を行った。

当日は、江森委員長と本事業の専門家委員である大阪成蹊大学の吾奏教授との対談企画である「オープニングセッション『XIが拓く“体験価値の世界”印刷業におけるイノベーションの可能性』」をはじめ、印刷業の未来の職種「XI(エックスアイ Experience Integratorの略: 体験をビジネス価値に変換する仕事人の呼び名)」の紹介、昨年11月に実証実験を行った体験価値提供ビジネスモデル(「DIG IT.(感性で選ぶ買い物体験)」「BCP体験カフェ」「オープンファクトリー」)の検証結果など進捗報告を行った。また、全国の組合員・一般参加者に向けたパネル展示など展示会を併設、1,287人が来場し「体験価値」を軸とした新たな印刷業の役割を共有した。



DIG IT.



オープニングセッション

日本フォーム印刷工業連合会

「2026年 新春特別講演会・懇親会」 を開催

1月22日(木)午後4時からホテル椿山荘にて「2026年新春特別講演会・懇親会」が開催された。特別講演会はハイブリッドで開催し約170名が、懇親会は会員、関連各社約140名が参加した。

■「第1部 特別講演会」では、講師に三木浩平氏（総務省 大臣官房 デジタル統括アドバイザー）に「自治体アウトソーシング市場への期待～システム標準化とフロントヤード改革により展望されるビジネス」をテーマにご講演頂いた。



三木浩平氏

「行政資源の減少」を解決するには、①デジタル技術の活用、②アウトソーシングや民間との協働、③行革による事業や業務の改革等の「新たな時代の行政経営」が必要であると述べられ、それぞれについて解説された。さらに、自治体システムの標準化とガバメントクラウド移行によりアウトソーシングの環境を進化させ、オンラインとマイデータの活用により民間サービスとの連携が実現する。また、住民と自治体の接点である「フロントヤード」を改革し、AIが職員や業務内容を補完し、利用者とのコミュニケーションが図れるようになると話され、「窓口業務の民間委託」「サービス利用型の窓口アウトソーシング」化により、難しかった小規模団体での総合窓口や新サービスの提供が実現すると説明された。

■「第2部 懇親会」の開会にあたり、添田秀樹会長は、「我々は、ビジネスプロセスマネジメントを本業としている事業者団体です。本日の講演では、国のシステムが標準化され、個々の受発注が公益化されていくことが想像できました。やるべきことはまだまだある。我々はこのような業務フローのインフラ会社であり、貢献できる位置づけにすることが重要。今後、新しいカタチにも対応できる業界であると思います。共に協力していきたい」と挨拶した。



添田会長

日本グラフィックサービス工業会

page2026でDX Barを開業 ジャグラメニューを紹介

日本グラフィックサービス工業会（ジャグラ）は2月18日から20日までの3日間、東京・池袋のサンシャインシティコンベンションセンターで開催されたJAGAT主催のpage2026に出展しました。昨年に引き続き、ブースでは「ジャグラDX（デラックス）BAR」をオープンし、弊会の魅力をPRさせていただきました。

特に今回は2つの特別企画を用意しました。1つ目が「ジャグラメニュー」です。弊会が会員向けに提供している個人情報保護、ジャグラBB、機関誌、各種セミナーからジャグラコンパクトDX事業で開発されたデータクレンジングRobo、バーコード工程管理、避難場所マップ生成システムといった具体的なツール、単品損益の考え方やDTPオペレーター教育などの情報をレストランのメニュー仕立てでご紹介しました。また、多彩な会員が集まるジャグラの特徴をフルーツポンチに見立てたオリジナルワインベースカクテル「ジャグラポンチ」や、東京の会員企業が展開するクラフトビールをご用意し、来場者に提供させていただきました。

飲み物を片手にジャグラの会員メリットをご説明させていただく中で、業界全体の様々な課題や展望について意見交換させていただく場となりました。



DTP技能（Id、イラレ）を認定 第5期ジャグラテスト受験者募集へ

ジャグラ主催のDTP技能認定であるジャグラテストの第5期受験者を2026年6月1日(月)から8月31日(月)まで募集します。本テストは、課題を基に制作されたDTPデータをスコア評価し、印刷物制作現場で即戦力として活躍できるDTPオペレーション技能を有する方を認定するものです。また、課題データはネット経由で提出いただいたあと、審査委員による評価をスコア表で返却します。自身のオペレーション技能レベルが数値化されているので、今後強化すべきポイントを把握することができます。今年もInDesign、Illustratorの2部門で実施します。

会員だけでなく、一般、学生の応募も可能です。詳細はQRから特設サイトをご確認ください。



全日本製本工業組合連合会

第63回 西日本製本協議会京都大会 各地で価値の高い仕事の報告 紙の文化が必要な理由も随所に

第63回西日本製本協議会京都大会が2月14日、京都市の京都ブライトンホテルで開催され、組合員や来賓ら40名が参加しました。冒頭、開催地を代表して京都工組の大入達男理事長は、デジタルを使いこなすデザイナーが「頭に入りやすい」という理由で紙のノートを愛用している事例を紹介し、紙の文化は今後も残り続けると心強さを語りました。西日本製本協議会の富塚宗寛会長は、厳しい経営環境下において活発な意見交換と情報交換を行うことの重要性を強調しました。また、全製工連の田中真文会長は、生成AIの回答を引用しながら「紙の価値の再発見」と「ニッチ・トップ」が生き残り策であると述べ、国などの後押しも受けて製本価格の値上げや価格転嫁を強力に進める方針を示しました。

各地区の現況報告では、大阪や京都などで組合員数の減少による財政の逼迫が報告されましたが、一方で新たな商機を見出す事例も共有されました。福岡工組では、高い加工技術を要する不動産契約書ファイルの受注で利益を上げ、広島工組ではテント生地を用いたファイル制作に挑戦したことで新規の仕事に繋がっています。価格交渉については、東京工組が低単価な学参物の値上げに成功し、収益性の高い仕事へシフトした事例がある一方、石川工組のように一律の値上げ要請後に仕事量が減少したケースもあり、交渉の難しさが浮き彫りとなりました。京都工組では、自ら価格を設定できるビジネスを目指し、地元の書店と共同でミュージアムショップを運営するなどの独自の取り組みを行っています。

さらに「紙の未来プロジェクト2026」の進捗報告では、デザイナーとの伴走による商品開発支援や、展示会での販売機会の提供について説明がありました。協議会終了後、『世界と日本の未来、紙の本の未来』と題して講演が行われた。講師は野村将揮氏。北欧のIT先進国でデジタル教科書から紙の教科書へ回帰する動きがあることや、スマホとうつ病の因果関係が指摘されました。本協議会は、紙の特長を生かした仕組みの必要性和、製本業界が挑戦し続ける姿勢の重要性を再確認する場となりました。



全日本シール印刷協同組合連合会

「第34回 世界ラベルコンテスト2025 Best of the Best」の発表

第34回世界ラベルコンテスト2025審査会 (Steve wood 審査委員長 = FINAT) は2026年2月2日に「Best of the Best」の発表があり、株式会社九州クラフト工業がレタープレス部門でBest of the Bestに輝いた。

同賞の作品は昨年スペイン・バルセロナで開催されたラベルエキスポヨーロッパに合わせて行われた、第34回世界ラベルコンテスト2025審査会で選出された最優秀賞の中から印刷方式毎に5部門で発表された「Best of the Best」という世界ナンバー1の賞である (既に各クラスの最優秀賞並びに審査員特別賞等の発表は2025年10月30日に発表済み)。

世界ラベルコンテスト審査会は、JFLP (日本・田中祐会長) をはじめとして、FINAT (欧州)、TLMI (北米)、FPLMA (豪州)、SALMA (ニュージーランド)、CPA (中国)、LAMI (インド) の世界のシールラベル印刷7団体が参加して毎年行われている (L9加盟はメキシコ、ブラジルを含めた9団体)。

そこでレタープレス部門では「株式会社九州クラフト工業 (九州協組) 小林裕幸社長」の作品 (コロッケラベル) が、「Best of the Best」と決まり受賞した。

なお、JFLPは賞の創設から11年連続 (コロナ禍の2年間は中止) で「Best of the Best」受賞という結果になると共に、審査会でも受賞の株式会社九州クラフト工業のラベル印刷技術の高さに称賛の声が挙がっていました。



JFLPより、「Best of the Best レタープレス部門」で株式会社九州クラフト工業 (小林裕幸社長 九州協組) の作品『手づくり 馬ロッケ (コロッケラベル)』が栄冠

全国グラビア協同組合連合会

“取適法” “育成就労制度” を中心に活発な意見交換 全グラ・関グラ理事会を開催

全国グラビア協同組合連合会は、1月16日(金)ホテルニューオータニにて理事会を開催しました。また、関東グラビア協同組合は、2月12日(木)組合事務所にて理事会を開催しました。両理事会とも、日本印刷産業連合会賀詞交歓会、東京都中小企業中央会賀詞交歓会、全グラ賀詞交歓会の模様を報告した後、6月に開催する全グラ総会(北海道)の計画、GPグリーン基準の改定等の連絡を行いました。日本印刷産業連合会が進める“印刷産業環境ビジョン2050”についてもグラビア業界としての意見が出されました。より活発な意見交換がなされたのが、1月より施行された“取適法”と来年4月から制度が変わる“育成就労制度”についてです。“取適法”については、日本印刷産業連合会も業界としての対応策を検討しており、これとどう連携して進めていくか、懸念点はないか、不適正な取引に直面した場合にどう対処していくか等様々な意見が出されました。急激な原料高騰等製造コストも大幅に上昇する中、中小のグラビア印刷会社が適正な利益を確保し、明日への設備投資原資を確保するためにも“取適法”への対応は最重要課題となっています。“育成就労制度”については、制度の概要から、現行“技能実習制度”からの切换スケジュール、JAIMへの加入、全グラの位置付け、新規加入企業への対応、課題等々活発な意見交換がなされました。人手不足が叫ばれる中、グラビア業界もその深刻さを増しており、今般の制度変更をどの様に活用していくか、組合としても真剣に取り組んでいきたいと考えています。



日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会

GC青年会研修会……会員企業の『強み』の発表 プレゼンテーション会開催

2月4日(水)16時より、昨年1月にオープンしたRICOH Smart & Innovation Centerにて、『新たな企業価値を創り出す』をテーマに1年間の研修の成果のプレゼンテーションを行った。厳しい製版業界において、いかに各社が新たな価値を創造しながら発展を遂げたかを各社の強みにフォーカスして12社15名がプレゼンを行った。多くのヒントを得られる有意義な会となった。



青年会の発表会参加の皆さん

GCJセミナー……『伝わる』が企業を強くする フォントで変わるデザイン術

2月5日(木)16時より、GCJ主催、GC九州主管で人材育成事業の一環として、講師に㈱モリサワの榎本浩貴氏をお招きしてセミナーを開催した。ビジネスにおいては、情報に興味を持ってもらい、正確に伝わるのが肝要で、フォントの選び方、使い方がキーになるとした。榎本氏は、全ての資料、文章作成を行う業界人に向けてレイアウトの基本ノウハウを伝授した。デザイン職に留まらず、営業職などにも役立つセミナーとなった。

GCJ、GC東京合同理事会開催

2月20日(金)14時より㈱ショウエイ本社会議室にて、GCJ、GC東京合同の理事会が全国地区工組理事長参加のもと開催された。



理事会の1コマ

錦山会長より来期の事業計画案も発表された。来期の基本方針は従来の『結集GCパワー+』から『結集GC Power For the Next Generation』にバージョンアップし、「価値共創を推進しビジネスの拡大を図り次世代へ繋ぐ」とした。

『2026年 新春の集い』開催

合同理事会終了後、ホテル椿山荘東京で恒例の新春の集いが開催された。

錦山慎太郎理事長より主催者挨拶が行われ、続いて来賓を代表して、日印産連高島淳一常務理事よりご挨拶を、プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会の山田周一郎会長の乾杯のご発声で開幕した。締めは松浦睦桐副理事長が本日の参加の謝辞と自らが実行委員長を務める、11月20日開催のGCJ東京大会のPRと協力をお願いで締めくくった。



新春の集いで挨拶をする錦山理事長

全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会

第55回 全国大会 in 北海道を開催

令和8年5月28日(木)、第55回 全国大会 in 北海道を「プレミアホテルTSUBAKI 札幌」において開催いたします。

当日は講演会を開催せず、代わりに3時間じっくり交流を深めていただく場を用意いたしました。

また、懇親会では北海道名物が当たるビンゴ(又はゲーム)を行います。

翌日は人気の旭山動物園を回る旭川観光、さらにゴルフ会も実施いたします。

盛り沢山の内容で交流を深め、春の北海道を堪能できる大会にいたします。



大会テーマ「北の大地でつながる力、広がる未来」

1. 日時：令和8年5月28日(木)

*翌29日(金)は観光、ゴルフを行います。

2. 会場：「プレミアホテル-TSUBAKI-札幌」

<https://premier.kenhotels.com/sapporo/>

住所：〒062-0904 札幌市豊平区豊平4条1丁目1-1

TEL：011-330-0046 FAX：011-842-6654

3. スケジュール

【5月28日(木)】

総会 16:00～16:30 (連合会理事・監事のみ)

全国大会・懇親会 17:00～20:00 (連合会理事・監事以外の方は17時からご参加ください)

二次会 20:00～21:30 (ホテル内)

*今回は講演会を開催せず、3時間じっくり交流を深めていただく場を用意しました。懇親会では北海道名物が当たるビンゴ(又はゲーム)でお楽しみください。

【5月29日(金)】

観光(予定)

8:30 ホテルをバス出発

ホテル⇒市内数カ所ピックアップ⇒男山酒造資料館⇒大雪地ビール館(昼食)⇒旭山動物園⇒新千歳空港⇒札幌駅北口(解散)

*新千歳空港は17:00頃、札幌駅は18:00頃到着予定ですが、バス移動のため時間は前後する可能性がありますので、時間に余裕をもって帰りの飛行機をご予約ください。

ゴルフ

ニドムクラシックコース(ニスパコース)

北海道苫小牧市宇植苗430

<https://www.nidomcc.jp/courseguide/nispa/>

7:42 IN/OUT 各3組(計6組)

全日本光沢化工紙協同組合連合会

関東特殊加工協同組合 令和8年 新年会開催

全日本光沢化工紙協同組合連合会傘下の関東特殊加工協同組合では、1月20日(火)午後6時から上野精養軒で、ご来賓、会員、関連業界の多くのみなさんに参加いただき新年会を開催した。

木村理事長から「今年は午年ということで、力強く前へ進む姿から物事が順調に進む年、運気が上向く年ともいわれています。我々業界においては、馬のような駆け足で進むことはできないかもしれませんが、着実に前へ進んでいける一年になってもらいたいものです」と年頭挨拶があった。

ご来賓の日本印刷産業連合会、高島淳一常務理事から「皆様のお仕事は印刷本来の良さ決してデジタルでは味わえない人々の手元に置いておきたい、きちんと読みたいという欲求、これを直接的に満たすものだと思います。その美しさ、楽しさだけではなく、紙だけでは得られない強い耐久性を製品に与え長い間その美しさを保ち、近年ではその反面環境対応にも取り組み高い耐久性も有しております。まだまだ、その仕事の役割は多いと考えます。皆様と共に明るい未来に向かっていきたいと思います」とご祝辞をいただいた。関連業界の荒川塗料工業株式会社 榎本公裕社長よりご挨拶、株式会社東屋 高橋淳社長より乾杯ご発声をいただき開宴した。余興で抽選会が行われ大いに盛り上がり、浅野副理事長の中締めで和やかな新年会は終了した。



2026年 1月 Jan. 2026

7(水)	2026年 新年交歓会	The Okura Tokyo	
8(木)	グリーンプリンティング制度概要説明会		*
15(木)	第2回 環境表彰制度検討WG	日印産連会議室	
20(火)	グリーンプリンティング申請書作成説明会		*
	「全国カレンダー展」「全国カタログ展」表彰式	印刷会館	
22(木)	グリーンプリンティング認定工場更新説明会 オフセット印刷部門	印刷会館 202・203	
23(金)	第64回 グリーンプリンティング認定工場交流会		*
26(月)	第218回 プライバシーマーク審査委員会	日印産連会議室	*
	プライバシーマーク審査員勉強会	日印産連会議室	*
27(火)	GP認定工場更新説明会 グラビア印刷部門		*
28(水)	第5回 ステアリング・コミッティ (運営委員会)	印刷会館2F 大会議室	*

2026年 2月 Feb. 2026

2(月)	独禁法セミナー	印刷会館2F 大会議室	
	グリーンプリンティング制度概要説明会		*
3(火)	第5回グリーンプリンティング推進部会		*
6(金)	労働安全衛生法令の「新たな化学物質管理規制について」セミナー		*
9(月)	情報セキュリティセミナー		*
12(木)	JPC審査会	DNP左内町ビル	
13(金)	第4回 環境自主行動計画推進WG		*
16(月)	第219回 プライバシーマーク審査委員会	日印産連会議室	*
17(火)	第8回 グリーンプリンティング推進部会 GP周知活動WG		*
25(水)	グリーンプリンティング申請書作成説明会		*
	第3回 環境マネジメント部会		*
26(木)	独禁法セミナー		*
	第2回 労働安全衛生部会		*

2026年 3月 Mar. 2026

2(月)	グリーンプリンティング制度概要説明会		*
4(水)	独禁法セミナー		*
	第3回 知的財産部会	日印産連会議室	
5(木)	情報セキュリティ部会	日印産連会議室	
11(水)	第6回 ステアリング・コミッティ (運営委員会)	印刷会館2F 大会議室	*
18(水)	印刷図書館 第2回 理事会	印刷会館2F 大会議室	*
	第4回 理事会	印刷会館2F 大会議室	*
23(月)	第220回 プライバシーマーク審査委員会	日印産連会議室	*
	第73回 プライバシーマーク審査員研修会	日印産連会議室	*
24(火)	グリーンプリンティング申請書作成説明会		*
26(木)	第82回 グリーンプリンティング工場認定委員会		*
30(月)	第9回 グリーンプリンティング推進部会 GP周知活動WG	日印産連会議室	

*WEB開催、併用の会議



事務局だより

3月19日には桜の開花が発表され、いよいよ春の訪れを感じる季節となりました。街の景色も少しずつやわらぎ、気持ちも自然と前向きになるこの頃です。

春の訪れとともに、新たなスタートを感じるこの時期ですが、スポーツ界に目を向けると、WBCでの熱戦や、ミラノ・コルティナオリンピックにおける日本選手の活躍が大きな話題となり、多くの感動と元気を届けてくれました。思わずテレビやニュースに見入ってしまった方も多いのではないのでしょうか。

新年度を迎え、事務局でも気持ちを新たに、各事業の準備や運営に取り組んでおります。環境の変化も多い時期ではありますが、春の穏やかな空気に背中を押されながら、本年度も皆さまとともに一步一步着実に歩んでまいりたいと存じます。

JFPI REPORTも今号から、表紙デザインが変わります。

新しいデザインは共同印刷(株)様に作成いただきました。紙面全体に季節感を反映し、現代的でポップな印象を持つ構成をベースに、躍進性・改革性・爽快感を表現。シルエットと配色の組み合わせを通して、印刷というメディアの多層的価値を直感的に伝えることを狙いとしていますので、表紙にもぜひご注目ください。

【表紙デザイン 作品プロフィール】

共同印刷株式会社 プロモーションメディア事業部コミュニケーションデザイン部 コーポレートコミュニケーションデザイン課

クリエイティブ力の高いディレクターを中心に、企業の戦略や価値を質の高い表現で伝えるコミュニケーションを生み出すチーム。

表紙デザインは「色で紡ぐ、四季の印刷。巡る季節と変わらぬ品質」をテーマに、躍進性・改革性・爽快感を現代的かつポップに表現。

4月号は桜と芽吹きをモチーフとしている。

主催コンクール関連では、「第65回 2026年ジャパンパッケージングコンペティション」の入賞作品が2月12日の審査会で決定しましたので、5月29日にホテルグランドヒル市ヶ谷にて授賞式を開催予定です。

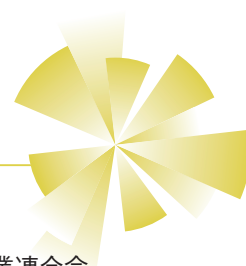
「第77回 全国カレンダー展」「第67回 全国カタログ展」合同表彰式の様子につきましては、P.18に掲載しております。

また、「第59回 造本装幀コンクール」の審査会が6月3日に行われます。入賞作品は7月号に掲載予定です。

日印産連では、3月18日の理事会で「2026年度の事業計画」が承認されました。行政や業界団体との情報収集・発信に努めていきますので、今年度も引き続きご支援・ご協力の程、よろしくお願い致します。

次号は、6月10日に開催される第41回定時総会の模様を特集する予定です。

季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもございますので、どうぞご自愛のうえ、健やかにお過ごしください。本年度も何卒よろしくお願い申し上げます。



発行日 2026年4月30日

発行人 緒方 宏俊

発行所 一般社団法人 日本印刷産業連合会

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8

日本印刷会館 8階

TEL 03 (3553) 6051

FAX 03 (3553) 6079

<https://www.jfpi.or.jp>

グリーンプリンティング公式キャラクター
2代目「ジッピー」として
新しく生まれ変わりました!



ぼくジッピー!
新しくなったぼくが
GPを紹介するね

ジッピー

グリーンプリンティング(GP)は、印刷によって生じるさまざまな地球環境への負荷を減らすために生まれた制度です。

20周年の節目に、公式キャラクターが新しく生まれ変わりました。

ジッピーとともに、GPの魅力をよりわかりやすく伝えていきたいと考えております。

●GP紹介1分動画



グリーンプリンティングのことを
ジッピーが短く・やさしく1分で紹介。営業現場で
“説明の手間が減る”動画になっております。

🔍 グリーンプリンティング



一般社団法人 日本印刷産業連合会
Japan Federation of Printing Industries
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館内
TEL 03-3553-6051 FAX 03-3553-6079
<https://www.jfpi.or.jp/>



GREEN PRINTING JFPI
P-D10019

この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。